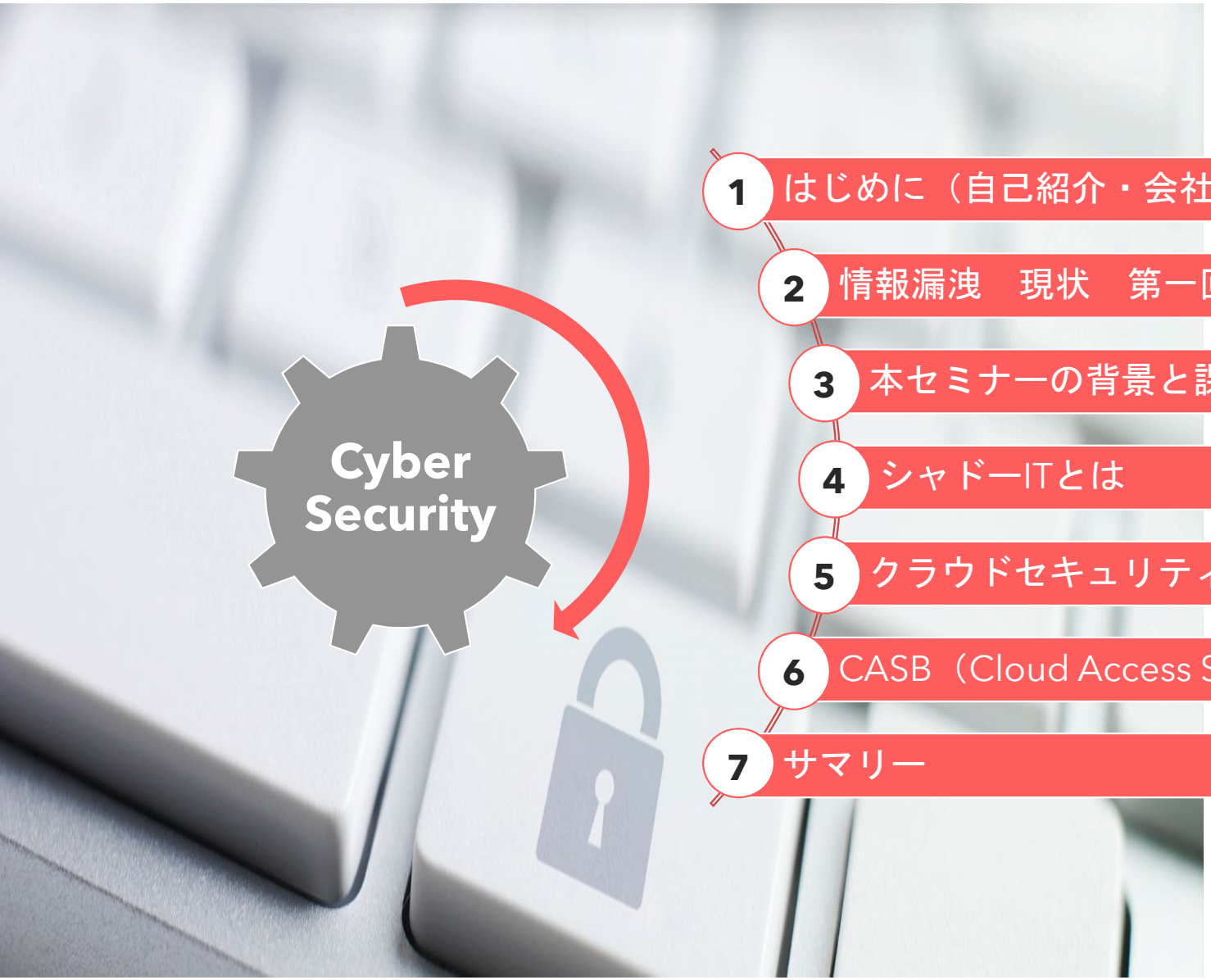
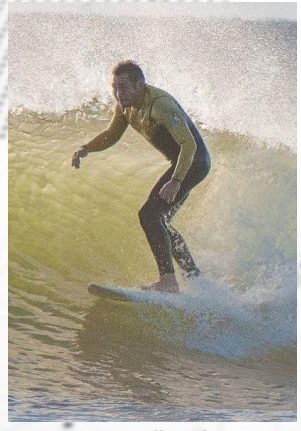


SYSCOM
GLOBAL SOLUTIONS

1. はじめに（自己紹介・会社紹介）
2. 情報漏洩　現状　第一回セミナーおさらい
3. 本セミナーの背景と課題
4. シャドーITとは
5. クラウドセキュリティ事故・事例
6. CASB（Cloud Access Security Broker)
7. サマリー

はじめに（自己紹介・会社案内）

はじめに（自己紹介）



プロフィール（赤司 篤亮）(第二回目講師)

年齢・趣味

- 45歳
- サーフィン
- ゴルフ

シスコム歴・部署・役職

- 20年
- NY営業3部
- ディレクター

プロジェクト実績

- ネットワーク・セキュリティエンジニア
- システムズエンジニア・プロジェクトマネジメント
- クラウド（clavis）責任者
- 営業

©2021 SYSCOM GLOBAL SOLUTIONS INC. All Rights Reserved.

会社紹介

会社名	SYSCOM GLOBAL SOLUTIONS
代表	佐藤誠詞
設立	1990年5月
資本金	＄3,200,000-
株主構成	佐藤 誠詞 President & CEO 199株(66.3%) ITOCHU Techno-Solutions America, Inc. 101株(33.7%)
本社	米国 ニューヨーク マンハッタン
従業員数	約140名

30年以上のUSでのITサポート実績

パートナー、
ベンダーフリーの
トータルITサポート

日系企業**1000**社以上の取引実績

24時間
365日の
保守・
運用サービス

従業員の**7**割以上がエンジニア

©2021 SYSCOM GLOBAL SOLUTIONS INC. All Rights Reserved.

拠点

本社
ニューヨーク
1 Exchange Plaza
55 Broadway,11th Floor
New York, NY 10006
Tel: 212-797-9131 / Fax: 212-797-9132

支店
ロサンゼルス
21081 S. Western Avenue, Suite 240
Torrance, CA 90501
Tel: 310-965-4100 / Fax: 310-965-4135

シリコンバレー
2445 Augustine Drive, Suite 150
Santa Clara, CA 95054
Tel: 650-294-2500 / Fax: 650-294-2501

東京
100-0005
東京都千代田区丸の内１丁目６－２
新丸の内センタービルデング２１階
Tel: 03-3216-7351 / Fax: 03-3216-7210

プロジェクト拠点（実績）
APAC：日本、香港、台湾、中国、タイ、シンガポール、マレーシア、タイ、ベトナム、ミヤンマー、インド

Americas：全米、カナダ、ブラジル、エクアドル、チリ、ペルー、コロンビア、パナマ、コスタリカ、ボリビア、ガテマラ、アルゼンチン、ニカラグア、メキシコ

EMEA：イギリス、オランダ、ドイツ、UAE

Global & Local Partners: 100社以上

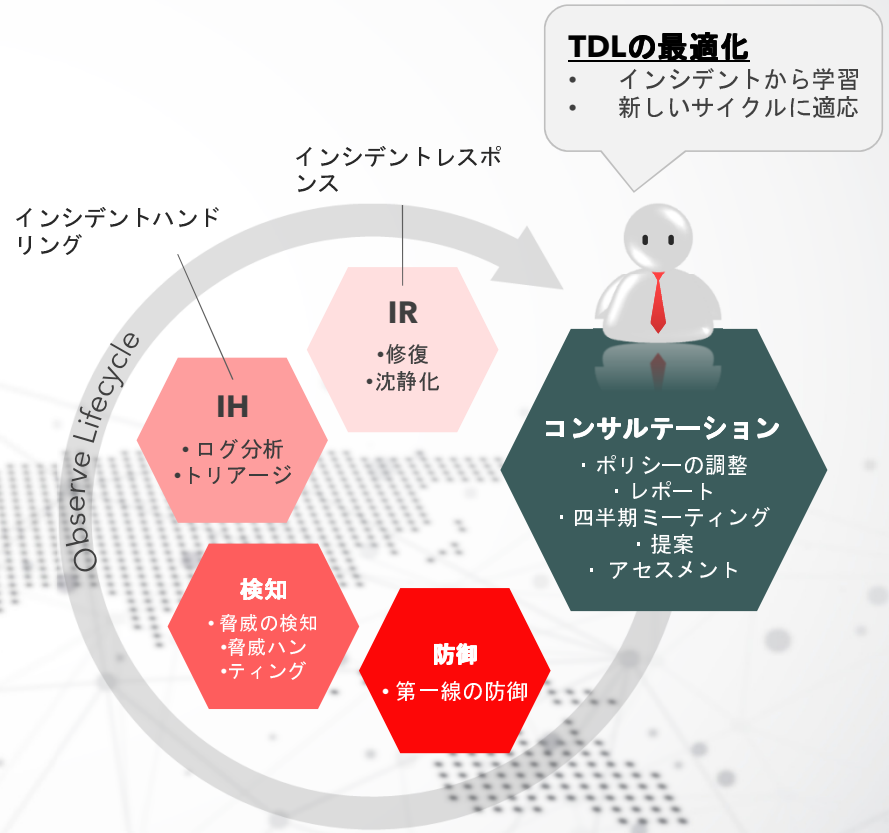
©2021 SYSCOM GLOBAL SOLUTIONS INC. All Rights Reserved.

当社のセキュリティ

Threat Defense Lifecycle (TDL)

一貫したサイクルの提供がサービスの主な特徴

- ソリューションの立案や製品の提供ではなく、サイクルの維持と改善が主眼
- サイクルの維持、見直しを図る事で、最新の脅威から遅れを取る事なく、着実にセキュリティ課題の解決に寄与



©2021 SYSCOM GLOBAL SOLUTIONS INC. All Rights Reserved.

情報漏洩　現状　第一回セミナーおさらい

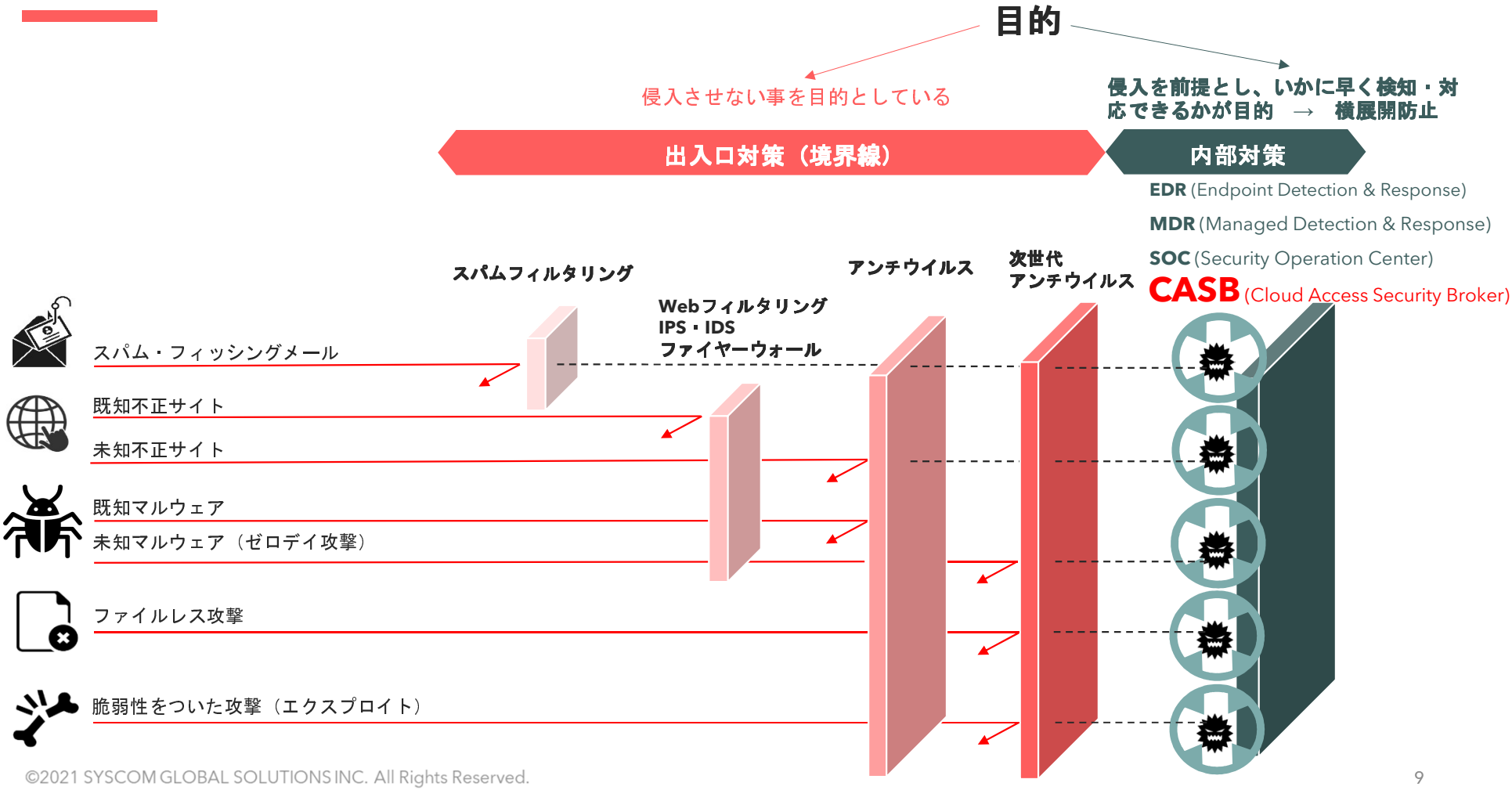
情報漏洩と対応　現状　前回のおさらい

個人データ	情報漏洩のうち**58%**は個人データが関与
対応	情報漏洩のうち**60%**はパッチが適応されていない事が要因
中小企業	中小企業の**43%**でサイバーセキュリティ対策の計画ができていない
経営者	経営者のうち**68%**はサイバーセキュリティリスクが増加していると感じている
被害と対応	2019年には **63%**の中小企業が情報漏洩があったと報告 - **58%** in 2018, **54%** in 2017 情報漏洩の**6割**は対応不足が原因
パンデミック	• パンデミック後のサイバー犯罪は**300%**増加

©2021 SYSCOM GLOBAL SOLUTIONS INC. All Rights Reserved.

対策　境界線と内部対策

SYSCOM GLOBAL SOLUTIONS



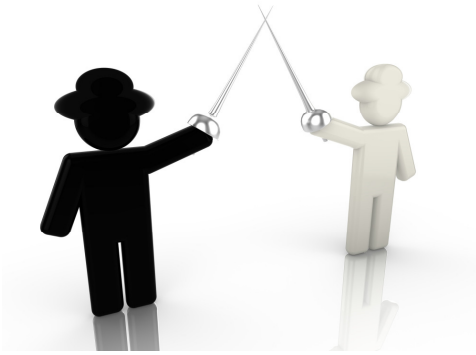
©2021 SYSCOM GLOBAL SOLUTIONS INC. All Rights Reserved.

本セミナーの背景と課題

本セミナーの背景

- トレンド：ほぼ全てのシステム・データがクラウドに移行する
- テレワーク化（働き方改革）によるクラウド活用の利便性向上

- 利便性とセキュリティは相反するもの　→　課題とその解決



©2021 SYSCOM GLOBAL SOLUTIONS INC. All Rights Reserved.

本セミナーの背景と課題

本来は
企業（社内）で認めたクラウドサービスだけユーザへ利用させる

しかし
企業が認知していないクラウドサービスが多数使われている
（シャドーIT　次頁）

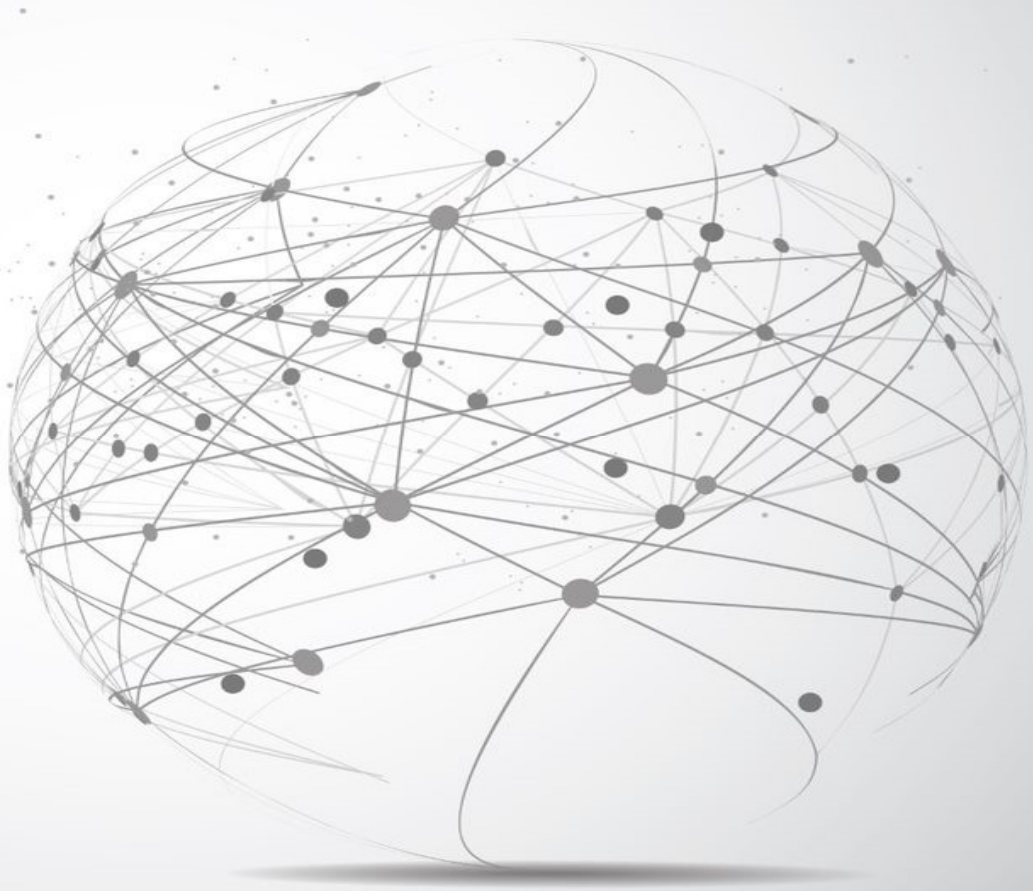
パートナーIT企業調べ

・従業員3,000人規模の会社で、平均約1,000を超えるクラウドサービスが検知される

・そのうち過半がハイリスクと判断されるサービス　（無名のサービス・IDPW無管理／ずさん、SSLなどの通信に暗号化がない等）

©2021 SYSCOM GLOBAL SOLUTIONS INC. All Rights Reserved.

シャドーIT



シャドーITとは

シャドーIT（シャドーアイティー、英語: shadow IT）とは、

社員が企業や組織で承認されていないPCやスマートフォンを業務に活用したり、会社に許可されていないクラウドサービスを活用すること

企業・組織の情報は管理者が適切に管理している状態を保つ必要があるが、クラウドサービスの普及に伴い、社員の企業や情報システム部門の目の届かないIT活用が増加。 企業・組織が保有する重要情報が管理部門の管理外で利用されることになり、情報流出や、攻撃の踏み台になるなどの情報セキュリティ事故が懸念され、問題となっている

©2021 SYSCOM GLOBAL SOLUTIONS INC. All Rights Reserved.

クラウドセキュリティ事故・事例

事故事例

　某日系企業でいくつかの部門が社内の承認を得ずにデータをパブリッククラウドに移行させていたことが発覚。
　そのうちのいくつかのサービスはセキュリティ予防策もなく、2年間もパブリッククラウドに置かれていた。結果大量の顧客情報漏洩が発生していたが、問題発生の時期や原因の追究が出来なかった。
　無償や安価でスピーディに利用できる便利なパブリッククラウドサービスを利用するようになり、知らず知らずシャドーITへの道を歩んでしまった。

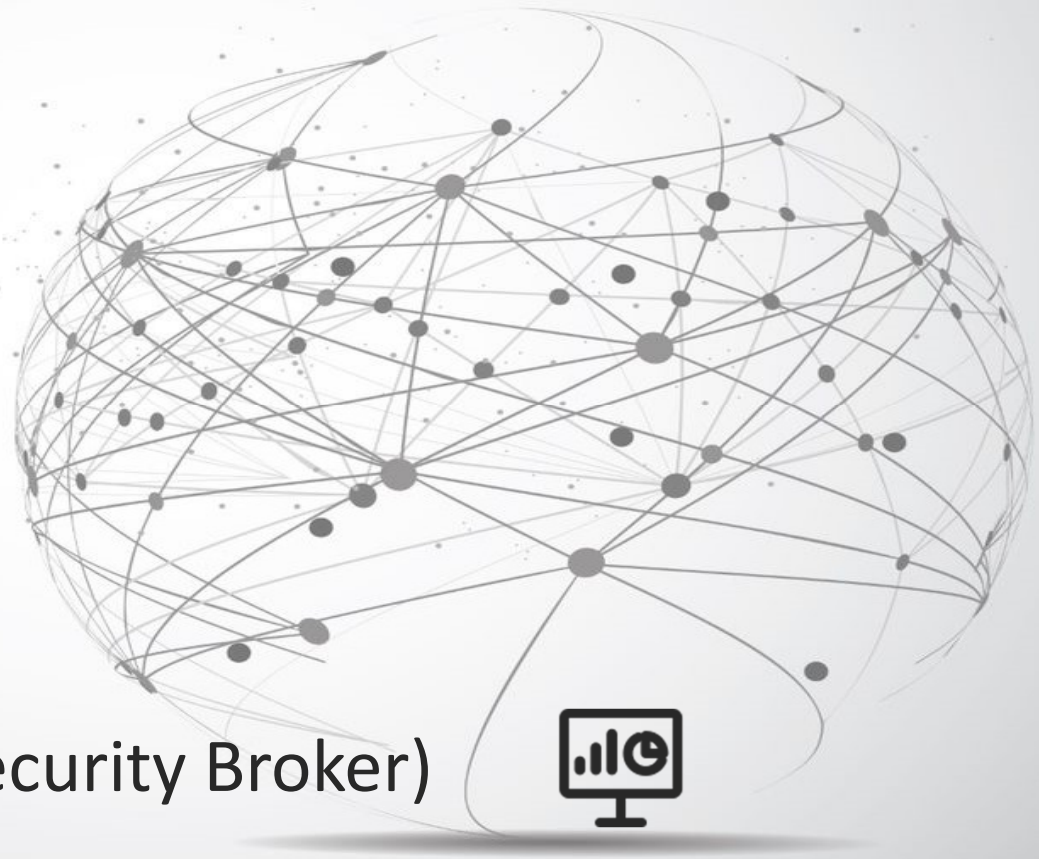
©2021 SYSCOM GLOBAL SOLUTIONS INC. All Rights Reserved.

解決したい課題

- 誰がどのようなクラウドサービスを利用しているか把握したい
- どのクラウドサービスであれば安全かの判断・判定が難しい
- 安全なクラウドサービスを許可したい（危険なものは禁止したい）
- 許可したサービスのコントロールをしたい

©2021 SYSCOM GLOBAL SOLUTIONS INC. All Rights Reserved.

CASB （Cloud Access Security Broker）



CASB （キャスビー（Cloud Access Security Broker))

SYSCOM GLOBAL SOLUTIONS

2012年に米ガートナーが提唱したクラウドサービスに対する情報セキュリティのコンセプト

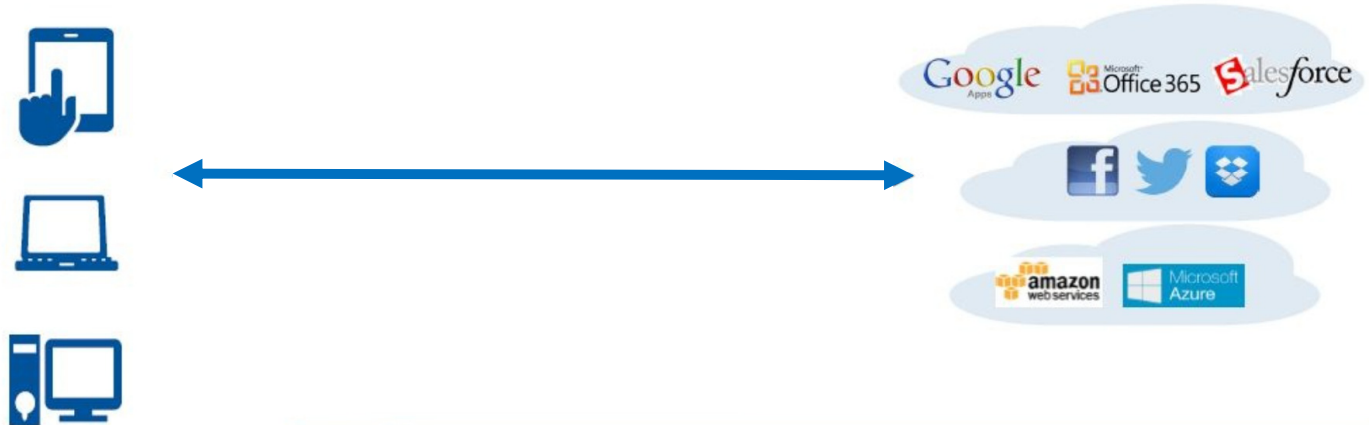
システム・データのクラウド移行が進み、（またテレワーク等のゼロトラスト環境が増える中）セキュリティを担保しながらクラウドへアクセスさせる必要性が高まる

業務効率や利便性を損なわないように、一貫性のあるセキュリティポリシーを適用しながらクラウドサービスを利用できる

CASBの主な4つの機能とは・・・・

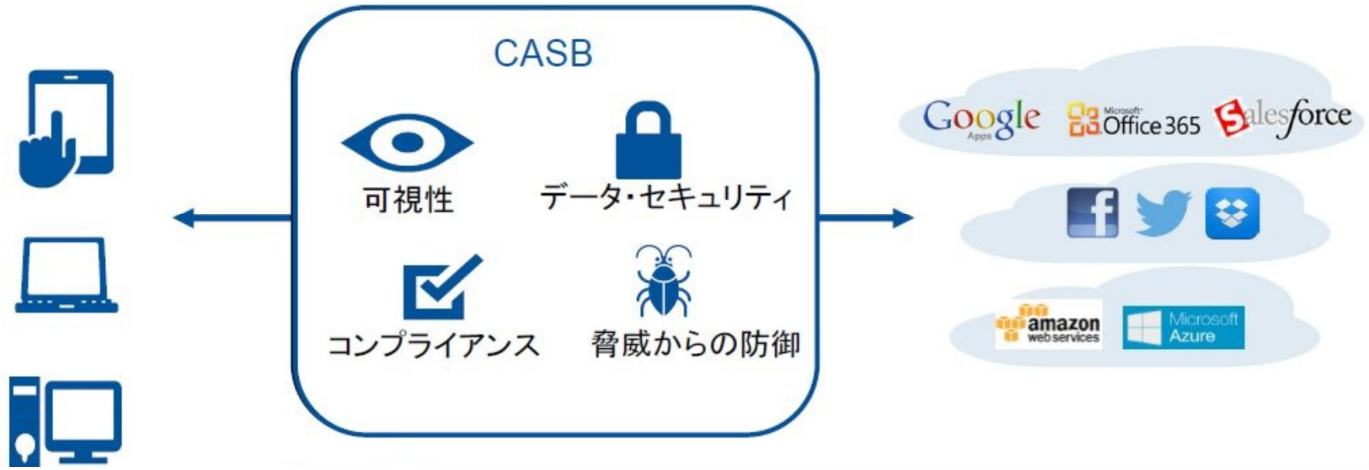
©2021 SYSCOM GLOBAL SOLUTIONS INC. All Rights Reserved.

CASB （キャスビー（Cloud Access Security Broker））



©2021 SYSCOM GLOBAL SOLUTIONS INC. All Rights Reserved.

CASB （キャスビー（Cloud Access Security Broaker))



- 可視化
- データセキュリティ
- コントロール
- 脅威防御

©2021 SYSCOM GLOBAL SOLUTIONS INC. All Rights Reserved.

CASB （キャスビー（Cloud Access Security Broker))

SYSCOM GLOBAL SOLUTIONS

可視化

社内で利用されているすべてのクラウドサービスを検出/可視化し、サービスごとの安全基準にもとづいてリスクを評価。サービスの利用やアップロード/ダウンロードといったアクティビティも可視化

コントロール

通信のブロック、アラート、暗号化などの制御を一元的に実行し、1つのセキュリティポリシーで複数のクラウドサービスをコントールする

©2021 SYSCOM GLOBAL SOLUTIONS INC. All Rights Reserved.

CASB （キャスビー（Cloud Access Security Broker))

データセキュリティ

会社が保有している機密情報を定義することにより、キーワードや多数の識別方法で精度の高い情報漏えい対策を実施し、クラウドサービスに保存されているデータを自社の暗号キーで暗号化する

脅威防御

クラウドサービスに隠れるマルウェアを検知し、隔離。また、共有アカウントの利用や、データコピー、大量のデータダウンロードといった異常を検知

©2021 SYSCOM GLOBAL SOLUTIONS INC. All Rights Reserved.

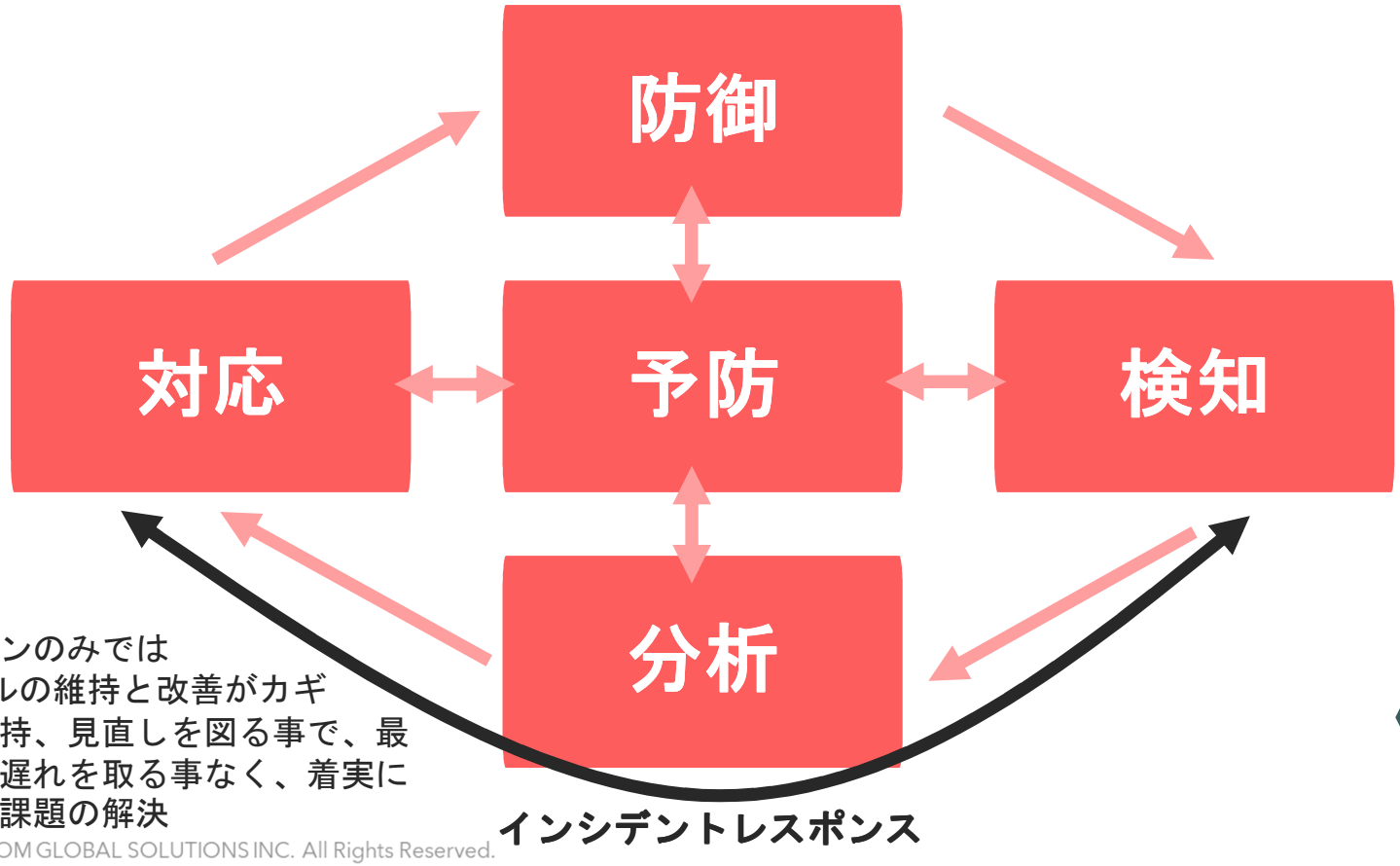
CASB （キャスビー（Cloud Access Security Broker))

レジストリ機能：各メーカーが独自の評価データベースを持っており、安全か危険かの評価をしてくれる

©2021 SYSCOM GL

セキュリティ運用サイクル

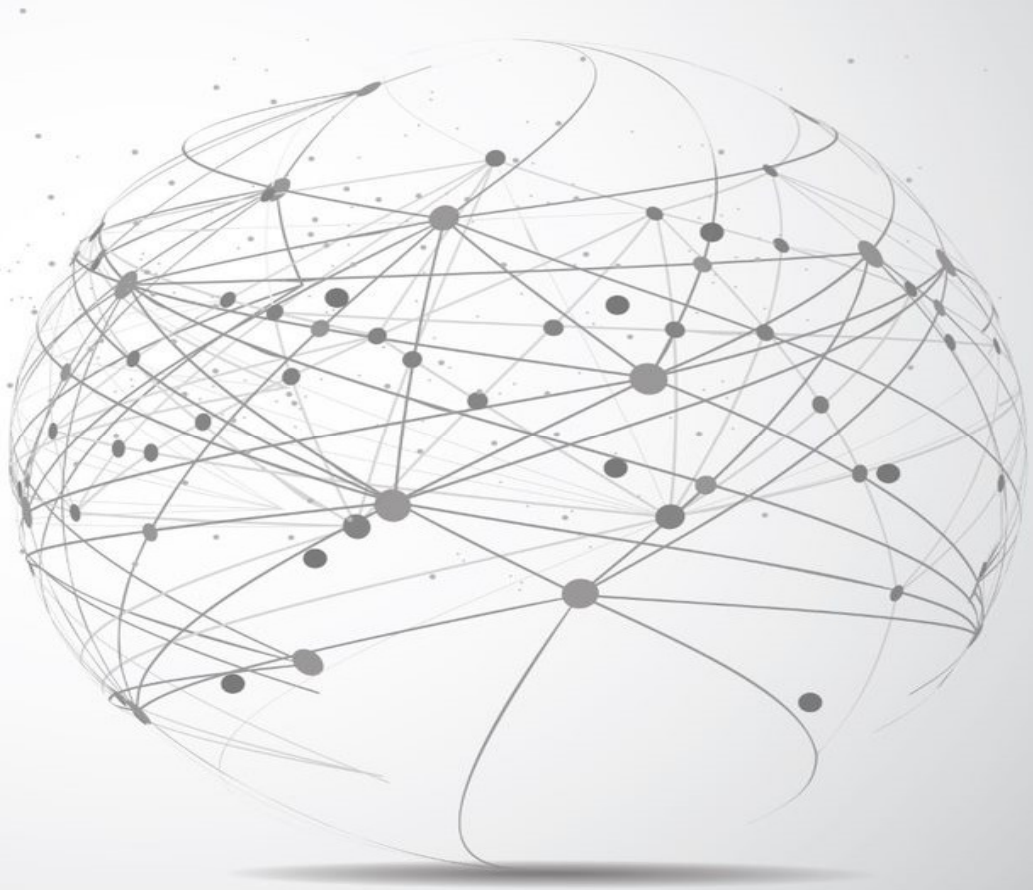
インシデントレスポンス対策がカギ



- ソリューションのみではなく、サイクルの維持と改善がカギ
- サイクルの維持、見直しを図る事で、最新の脅威から遅れを取る事なく、着実にセキュリティ課題の解決

©2021 SYSCOM GLOBAL SOLUTIONS INC. All Rights Reserved.

サマリー



サマリー

- リモートワークやクラウドサービス普及による企業での**クラウドサービス利用がスタンダード**になっている

- それに伴い**シャドーITが増加し**管理・把握自体が困難
  利便性向上に伴い**セキュリティリスクも向上**

- **CASB**を活用し、１）**可視化**　２）**コントロール**　３）**セキュリティ**
  ４）**脅威からの防御**　が必要

- できること　→　CASBの導入は不可欠
  定期的・継続した**運用**が必要

©2021 SYSCOM GLOBAL SOLUTIONS INC. All Rights Reserved.

セミナー

ウェビナー第1回　2021年最新サイバーセキュリティ事故の実態
05/12　　~事例と数字で見る米国・日本のセキュリティ動向~

ウェビナー第2回　今求められるクラウドセキュリティ対策
06/16　　~安全なクラウド利用を実現するCASBとは~

ウェビナー第3回　テレワーク環境下におけるITセキュリティリスクと最新の対策
07/14　　~ゼロトラストモデルとエンドポイントセキュリティ対策~

©2021 SYSCOM GLOBAL SOLUTIONS INC. All Rights Reserved.